

科目名	文学概論 I		英文表記	Introduction to Japanese literature I		2012年3月23日			
科目コード	4018								
教員名：翁長 志保子 技術職員名：						作成			
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			4年	必	履修	1単位	講義	前期	
科目目標	1 日本と沖縄の文学史の概要について学ぶ。 2 沖縄の近現代文学作品に触れ、その特徴について学ぶ。 3 文学の批評を読解することを通して、論理的な思考を養う。								
総合評価	1 定期考査 50% 2 批評文 40% 3 提出物 10%								
達成度目標と評価方法	科目達成度目標（対応するJABEE教育目標）				達成度目標の評価方法				
	① 日本と沖縄の文学史の概要について学ぶ。（機械A-1、情報C-3、メディアC-4、生物B-1, C-2）				⇒ 定期考査や提出物などで評価する。				
	② 沖縄の近現代文学作品に触れ、その特徴について学ぶ。（機械A-1、情報C-3、メディアC-4、生物B-1, C-2）				⇒ 授業中に作成した文章や提出物などで評価する。				
	③ 文学の批評を読解することを通して、論理的な思考を養う。（機械A-1、情報C-3、メディアC-4、生物B-1, C-2）				⇒ 授業中に作成した文章などで評価する。				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○		◎	JABEEプログラム教育目標	A-1	C-3	C-4	B-1, C-2
授業概要、方針、履修上の注意	これまで学んできた日本の近現代文学と比較しながら、郷土の文学を鑑賞、読解する。沖縄の近現代文学のなかから、いくつかの作品を選出し扱う。その上で、これらの文学を扱い論じた批評に触れ、参考にしつつ実際に批評を行ってみる。								
教科書・教材	『新版初訂カラー版新国語便覧』（第一学習社）、『沖縄文学選』（勉誠出版）〔適宜抜粋して資料として用意します〕、教員作成資料（パワーポイント、プリントなど）								
授 業 計 画									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習（予習・復習）内容		
1	ガイダンス	2	授業の概要について説明する。						
2	文学の流れ	2	日本と沖縄の文学史の概要について学ぶ。						
3	沖縄の近現代文学(1)	2	山城正忠「九年母」を読み、内容を理解する。						
4	沖縄の近現代文学(2)	2	久志富佐子「滅びゆく琉球女の手記」を読み、内容を理解する。				作品を読む		
5	沖縄の近現代文学(3)	2	大城立裕「カクテル・パーティー」を読み、内容を理解する。				作品を読む		
6	沖縄の近現代文学(4)	2	目取真俊「水滴」を読み、内容を理解する。				作品を読む		
7	沖縄の近現代文学(5)	2	崎山多美「ムイアニ由来記」を読み、内容を理解する。				作品を読む		
8	沖縄文学と言語の問題	2	沖縄文学における言語の特徴について学ぶ。						
9	沖縄文学と沖縄の社会	2	沖縄文学の中にあられる沖縄の社会について学ぶ。						
10	批評を読む(1)	2	「水滴」に関する批評を読む。				批評を読む		

11	批評を読む(2)	2	「ムイアニ由来記」に関する批評を読む。	批評を読む
12	批評を書く(1)	2	沖縄の文学のなかから作品を選ぶ。	作品を選ぶ
13	批評を書く(2)	2	批評を行うときのポイントについて学ぶ。	素案を用意
14	批評を書く(3)	2	気になる点について、実際に批評を行ってみる。	
15	総まとめ・総復習	2	半年間で学んだことをまとめ・復習し、知識の定着を図る。	
期末	期末試験	[2]		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
期末				
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習（予習・復習）内容（学修単位における自学自習時間の保証）				標準的所用時間（執行）
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)